

第 10 回 ESG 投資研究部会の議事要旨

日時：2018 年 7 月 19 日（木）午後 6 時 30 分から 8 時 00 分

場所：大手町ファイナンシャルシティ 3 階 会議室

出席者（順不同、敬称略）：小方、近藤、櫻井、佐藤、高田、武谷、林(順)、長谷川、福田
松山（計 10 名）

主な議題

1. 総勢 10 名が参加して研究部会を開催した。
2. 今回は以下の通り、2 名の部会員からの発表と活発な質疑応答、意見交換が行われた。
 - (1) 欧州の会計分野における CSR 研究について～EAA2018 参加報告～

日本政策投資銀行設備投資研究所の松山将之氏より、本件 5 月から 6 月にミラノで開催された EAA (European Accounting Association) での議論全般と、松山氏等が行った発表の内容について報告がなされた。
 - (2) 企業はなぜ CSR 活動において NGO・NPO と連携をするのか～動機と属性の分析～

青山学院大学大学院の櫻井功男氏より、ユニリーバが主導して NGO などと連携して設立した RSPO (持続可能なパーム油のための円卓会議) と、RMG (アパレル) 業界でブランド企業と労組・NGO が連携して設立した ACCORD の、具体的な内容や企業側の設立動機について説明がなされ、また NGO・NPO と連携している日本企業の属性について統計的手法を用いた分析結果の報告がなされた。
4. 次回は、9 月 6 日（木）、次々回は 11 月 22 日（木）に開催することとした。また小方部会長より、来年、日本経営倫理学会で ESG 投資のシンポジウムを開催することについて、その内容などについて説明がなされた。

以上